

向日葵

ひ ま わ り

第29号

令和2年3月12日発行

発行所
三条市農業委員会



あったか〜いごはん、
おいしいね！

当園では、様々な食育活動を推進しておりますが、昨年10月からは、子どもたちの脳の発育に影響を及ぼすといわれているネオニコチノイド系の農薬を使っていない、有機栽培米を市内の農家の方より購入し、完全給食として0歳から5歳まで全員に提供しています。

お昼になると、ジャヤーに入った炊き立てのご飯が給食室から届き、それを一人ずつ顔を見て「いい香りがするね」「おいしそうだね」と言葉をかけながらご家庭でされるようにお茶碗に盛ってあげています。

お茶碗は、あえて、落としたら割れる陶器のお茶碗を使用しています。

子どもたちも、「わー！おいしそうだ！」と言いつつながらも、「おちゃわんは、こうもつんだよ」「落とすとわれるからやさしくね」「おはしはこうだよ」などと確かめ合いながら、日本の食文化にも触れ、忘れられようとしている昔からの作法も、子どもたちの身に付くように指導しています。

お弁当持参の時はお代わりをしなかったお子さんが、「おいしい！おかわり！」と、たくさんたくさん食べるようになり、全体のご飯量の平均値も上がり、園としても大変喜んでいきます。子どもたちには、安心、安全の有機栽培米をたくさん食べて、健康で、元気な子どもに育ってほしいと願っています。

(川通どれみ保育園 澤 康子)

農業への挑戦

三条 飯塚農園

志と家族に支えられたアスパラ作り

料理人が欲しくなる素敵なアスパラガスを生産する飯塚農園さんを訪ねました。

農業大学を卒業し、祖母の枝豆作りを引き継いで農家となりました。その後、県の普及員の方よりアスパラガス作りを紹介され、2002年から栽培を始めました。稲作中心農家の父は「園芸はするな、本気になるな」と言っていたが、初めてのアスパラ作りには挑戦することを精神的にも経済的にも支援してくれました。

しかし、農産物の積み上げが少なく、土作りや管理が行き届かず、8年目に全滅させてしまいました。このまま続けるか悩みました。

その頃は、父の米作りも米価の低下などで厳しさを増して行つた時期でもあったのです。

そのような中、アスパラガス農家の仲間から「自分の技術を全部教えるからやってくれ」と説得され、再度取り組むことにしました。自分なりのアスパラガスが出来

と違うコメづくりの「表現」だと手ごたえを感じています。

■うれしかったことは？——一番初め仕込んでくれた当時の杜氏に「長期低温熟成に耐えうる酒米としての能力が高いコメだ。仕上がりが大吟醸に近い。すごい。」と褒めてくださったときは嬉しかったです。

■今後について——6次産業化プランナーにより、首都圏へ販路を伸ばす計画があり、越乃しらさぎを通して、有機米を栽培する生産者が増えることを願っています。

辛口で飲み口良く、雑味のない越乃しらさぎ。毎年、その新酒を楽しむに待つファンのためにも活動を続ける生産者の心意気と団結の強さを感じました。

(田邊)



ないときは、資材から見直し、自家製の堆肥、微生物資材での土作りと超低農薬での栽培に取り組みました。そのおいしさと品質の良さでレストランのシェフが絶賛するアスパラガスになりました。

ここまで来るのに父の理解と妻の献身的な支えがあつたこと、家族には感謝しかありません。

三条の若き農業者飯塚英晃さんは、地域農業の光となることを確信しました。

(小川)



栄 栄然酒会

越乃しらさぎ

今年も新酒ができました！

三条市栄地区産の有機米を原料にした酒、純米吟醸「越乃しらさぎ」をつくる栄地区の「栄然酒会（さかえねんしゅかい）」はその年の12月にしぼりたての生原酒を今年も発売しました。栄地区の酒店と自然栽培農家から結成されており、麒麟山酒造株式会社に醸造委託しています。田植え、田の草取り、稲刈りは毎年、参加を楽しみにしているリピーターを田んぼに呼び込んで田んぼに楽しそうな声飛び交う昔ながらの稲づくりです。同会の取り組みは今年度で26年目。これまで続けられてきた有機米生産者お三方にお話をうかがいました。

■きっかけは？

合併前の栄町だった時代に、全国的な「一村一品運動」の流れの中、栄町の特産品を作ろうと町内の酒販店と有機栽培農家



とで、1994年に栄然酒会を発足し、アイガモを利用した有機農法で新潟県の早生酒米品種「一本メ」を作付けし、スタートしました。

■最も大変だったことは？

7・13水害で刈谷田川が氾濫し、JAS有機の認証がとれなかったときです。あの時はどの田んぼも水浸しで大変でした。その年だけ、「生」しぼりではなく、名前を変えて加熱した日本酒を醸造することになりました。

■続けられる秘訣は？——意地！

酒米づくりを初めて挑戦した頃は、収量も上がりませんでした。有機の技術が年々進歩するとともに田んぼに行けば素晴らしい稲姿があつて、楽しくなっていました。現在は越乃しらさぎ用に酒米「五百万石」を栽培し、自分の作ったコメが酒になる喜びは、これまで

下田 橋本龍馬

三条市下田地区地域おこし協力隊の橋本龍馬です。

僕は見附市で生まれ、小学校から旧下田村で育ちました。

高校卒業後は、しばらく下田から離れて3年前に帰って来ました。地元に残っている友達も多く、僕自身もここで仕事を探し、またここで暮らしたいと思い地域おこし協力隊に応募し着任しました。

下田での仕事を考える上で農業は切り離せない財産であると感じ、只今勉強中です。まだ趣味程度にも届かないレベルですが、沢山の地域の方に支えられてやっています。

昨年度は棚田再生プロジェクトとし、南五百川の棚田で田植えから稲刈りまで棚田顧問の坂井良雄さんに指導してもらい実践しました。また、棚田でのイベントを行い、多くの地域外の方から体験して頂くことができました。参加した親子の楽しそうな様子を見て、地域の子も達にも関心を持ってもらえる農業や、やってみたくなる農業ができたらと感じました。

まだ試行錯誤の最中ですが、将来を担う子ども達が、夢や希望を

栄 栄然酒会

越乃しらさぎ

今年も新酒ができました！

三条市栄地区産の有機米を原料にした酒、純米吟醸「越乃しらさぎ」をつくる栄地区の「栄然酒会（さかえねんしゅかい）」はその年の12月にしぼりたての生原酒を今年も発売しました。栄地区の酒店と自然栽培農家から結成されており、麒麟山酒造株式会社に醸造委託しています。田植え、田の草取り、稲刈りは毎年、参加を楽しみにしているリピーターを田んぼに呼び込んで田んぼに楽しそうな声飛び交う昔ながらの稲づくりです。同会の取り組みは今年度で26年目。これまで続けられてきた有機米生産者お三方にお話をうかがいました。

■きっかけは？

合併前の栄町だった時代に、全国的な「一村一品運動」の流れの中、栄町の特産品を作ろうと町内の酒販店と有機栽培農家



とで、1994年に栄然酒会を発足し、アイガモを利用した有機農法で新潟県の早生酒米品種「一本メ」を作付けし、スタートしました。

■最も大変だったことは？

7・13水害で刈谷田川が氾濫し、JAS有機の認証がとれなかったときです。あの時はどの田んぼも水浸しで大変でした。その年だけ、「生」しぼりではなく、名前を変えて加熱した日本酒を醸造することになりました。

■続けられる秘訣は？——意地！

酒米づくりを初めて挑戦した頃は、収量も上がりませんでした。有機の技術が年々進歩するとともに田んぼに行けば素晴らしい稲姿があつて、楽しくなっていました。現在は越乃しらさぎ用に酒米「五百万石」を栽培し、自分の作ったコメが酒になる喜びは、これまで



もって農業に取り組める環境を作るのが、僕たち大人の役割だと考えています。

2020年3月

幻の焼酎「五輪峠」発売

2020年は何と言っても東京五輪、下田にも「五輪」がやってくる。毎年完売になり入手困難の下田産本格芋焼酎「五輪峠」、今春の発売を控え5回目の仕込みの真っ只中だ。地域資源を活かして下田の逸品をつくるこの取り組みに、過去最大66の個人、団体が賛同し、100%下田産のさつま芋



ラベル裏面に原材料提供者の名前が印刷されているのも特徴。撮影場所は下田地域にある「五輪峠」

「黄金千貫」5・7トンと米1・2トンが提供された。一般的な芋焼酎のイメージを覆す、フルーティーで、すっきりとした味わい特徴のこれまでになかった焼酎と大変好評だ。

杜氏は、瓶詰から5ヶ月ほど経つと味が落ち着き深みが出て飲みごろになるといふ。今年も奇跡的にオリンピックの時期と重なり「五輪峠」と共に日本人選手の活躍を楽しみにしたい。

(地域おこし協力隊)

現在の兼業農家について

第3調査部会長
阿部 眞佐雄



兼業農家が多い中、仕事も忙しい、農業と仕事を並行していくのは困難、休日にはリフレッシュ

したい、仕事ばかりでは大変だという方が多いのではないだろうか。

農業と仕事を両立させるには、家族の助けが必要となることがあると思います。しかし、家族の高齢化などにより、農業に従事できる人手がなくなることもあるでしょう。自分もいずれ高齢者になるが農業を継承する若い世代の方々がいるのか、また、その時、だれが農業を営んでいくのかという不安もあるでしょう。

農地中間管理機構の活用などを行い、皆様の手足となりながら、これからの農業を考えると共に担い手育成を図り、農業が受け継がれていけるよう活動してまいりたいと思いますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

一日研修

農業委員会は、10月2日に一日研修を実施しました。
研修内容は、(株)嵐北商事のスズゴケ栽培圃場、八十里越道路工事の視察及び只見町農業委員会との意見交換でした。
今回の(株)嵐北商事が開発栽培している、自社焼土利用のコケ栽培は、とても魅力的でした。需要拡大で、耕作放棄地利用や遊休地活用に広がればと思います。そして八十里越えが開通し観光コースの一つになる取り組みとしても大いに期待したいです。
坂井浩行



上大浦 造園用コケ栽培

今回の視察で苔の栽培、販売について考えたことを述べたいと思います。
(株)嵐北商事では以前、田んぼであった所を改良して、スズゴケの育成から販売までを行っているとのことでしたが販売先がある程度限定されてきて、庭園の作庭者等に販売されているとのことでした。少し前にもTVで室内のアーティファクトを使用して、インテリアと

農地中間管理機構の活用などを行い、皆様の手足となりながら、これからの農業を考えると共に担い手育成を図り、農業が受け継がれていけるよう活動してまいりたいと思いますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。
農業委員会には11月18日、国定市長に令和2年度三条市農林関係施策の要望を行いました。
農業を取り巻く環境は、長引く農産物の価格の低迷、農業従事者の高齢化や担い手の減少とともに、平成30年産米から国による米の生産数量目標の配分が廃止されたことに伴い、過剰生産による米価の下落や経営意欲の減退による耕作放棄地の増加などが懸念されているところです。
このような情勢の中、農業経営の安定化を図り、意欲ある担い手を育成し、地域農業の持続的な発展を促すため、食料・農業・農村に関する諸課題への取組をさらに進めていく必要があります。
農業委員会におきましても、農業者の公的代表機関として、農地を守り、担い手への農地利用の集積・集約化をはじめとする農地利用の最適化を推進するなど、農地法などで位置付けられ



八十里越視察研修

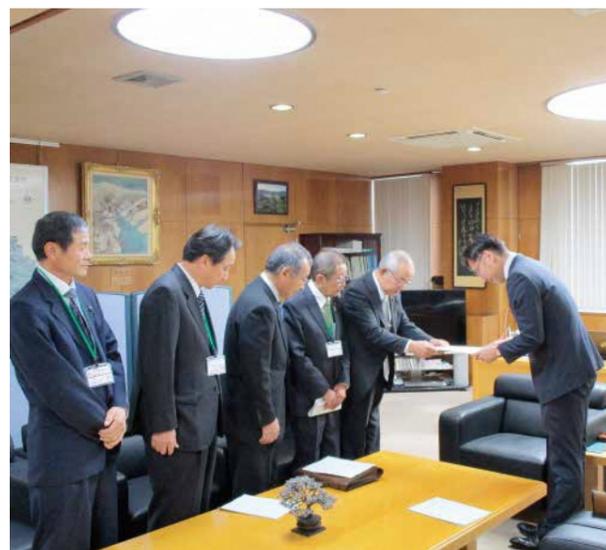
今回の八十里越、体験視察は工事現場道路にて時間を費やしましたが、貫通したら凄く利便性の高い道路と思いました。
県央地区から福島県の観光と言ったら、会津若松市。国道49号線から広瀬の国道252号線まわりになります。八十里越は最短距離だと思います。東関東へも最短ルートと思えます。
平成元年から始まった八十里越計画、30年以上かかっており、開通時期も明示されていませんが、必要不可欠な道路。地域活性化のためにも早い開通を願うものです。
清野秀作

只見町農業委員会との意見交換

吉田精一

三条市農林関係施策の市長要望

農業委員会は11月18日、国定市長に令和2年度三条市農林関係施策の要望を行いました。
農業を取り巻く環境は、長引く農産物の価格の低迷、農業従事者の高齢化や担い手の減少とともに、平成30年産米から国による米の生産数量目標の配分が廃止されたことに伴い、過剰生産による米価の下落や経営意欲の減退による耕作放棄地の増加などが懸念されているところです。
このような情勢の中、農業経営の安定化を図り、意欲ある担い手を育成し、地域農業の持続的な発展を促すため、食料・農業・農村に関する諸課題への取組をさらに進めていく必要があります。
農業委員会におきましても、農業者の公的代表機関として、農地を守り、担い手への農地利用の集積・集約化をはじめとする農地利用の最適化を推進するなど、農地法などで位置付けられ



三条市長室にて要望書提出

ている役割、機能を果たすべく、市及び農林関係機関・団体と密接な連携を図り、より一層の取組を進めてまいります。
農業・農村は食料供給をする機能に加え、水源の涵養、美しい景観の保全など多面的機能を有しています。その様々な機能や価値を維持する農業者が持続可能な農業を確立し、三条市の農業が魅力ある産業として発展できるよう、次のとおり令和2年度の農林関係施策について要望しました。

- 1 地域農業の活性化対策について
- 2 担い手の確保・育成・支援について
- 3 農林土木施設の整備について
- 4 「環境にやさしい、安心・安全な農業」について
- 5 米政策の着実な推進について
- 6 地産地消・食農教育の推進について
- 7 果樹栽培農家に対する助成措置について
- 8 有害鳥獣駆除対策について
- 9 林業の振興について
- 10 農業委員会活動について

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日(月4回)
購読料 月額700円(送料・税込)
申込先 農業委員会事務局
電話: 34-5635
(毎月15日までの申込みで、翌月から送付いたします。)

が1基で構造物は終了になるので早期の完成を期待しています。
原田孝一

令和2年度 農作業賃金・機械作業料金等標準額

令和2年度の農作業賃金及び機械作業料金等の標準額を次のように定めましたので、お知らせします。
令和2年3月

三条市農業委員会

- ※農業委員会で設定した賃金及び機械作業料金等は標準額です。
- ※ほ場の条件等により、双方の話し合いで決めてください。
- ※機械作業料金・機械運搬料・育苗の金額は、**消費税込みの料金です。**

賃金	区分	単位	金額(円)		備考
	一般作業	8時間	7,600		
機械作業料金	区分	単位	20a区画未満	20a区画以上	備考
	耕起	10a当り	6,900	6,200	
	代かき	10a当り	7,900	7,100	
	機械田植	10a当り	7,400	6,700	苗代金は別途
	コンバイン刈取	10a当り	21,000	18,900	倒伏等の場合は両者協議
	農薬散布	10a当り	740		薬剤費用は別途
	糞運搬費	10a当り	1,680		
	乾燥・調整	60kg当り	1,890		包装袋を除く
機械運搬料	トラクター コンバイン 田植機 運搬	10kmまで	6,600		1 市内片道料金 2 キャリアカー運搬
		15kmまで	8,250		
		20kmまで	11,000		
育苗	稚苗硬化苗	1箱当り	860		

農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農家のことを知りつくした農家のための年金です。

ポイント1の説明

農業者年金は「終身年金」ですので、女性の長い老後をしっかりとサポートします。

現在65歳の日本人の平均余命は、男性が19年(84歳)、女性が24年(89歳)で、女性は男性より5年長生きです。女性は、自分自身の年金を終身年金で準備することが重要です。

- 農業者の老後の生活の収入は、国民年金+農業者年金が基本です!
高齢農家の家計費は夫婦お二人で23~24万円が必要となるデータがあります。

国民年金の支給額は夫婦お二人で月額最高約13万円です。➡**月額約10万円不足**

農業者年金に夫のみ加入した場合と夫婦で加入した場合の比較

夫と妻は同年齢で、農業者年金へは30歳で保険料月額2万円通常加入し、死亡率の改善を見込んだ農業者の平均余命(男性87歳、女性92歳)まで生存するとして比較

	65歳~87歳の年金額(夫婦)		88歳~92歳の年金額(妻のみ)	
ケース1 農業者年金に夫のみ加入	国民年金	夫 月額 6万5千円 計 月額 13万円	国民年金	妻 月額 6万5千円
	農業者年金	夫 月額 4万2千円	農業者年金	なし
	合計	月額 17万2千円	合計	月額 6万5千円
ケース2 農業者年金に夫婦で加入	国民年金	夫 月額 6万5千円 計 月額 13万円	国民年金	妻 月額 6万5千円
	農業者年金	夫 月額 4万2千円 計 月額 7万8千円	農業者年金	妻 月額 3万6千円
	合計	月額 20万8千円	合計	月額 10万1千円

※農業者年金の試算額については、65歳までの運用利回り2.5%、65歳以降の予定利率は0.35%として行っています。
※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和元年度は0.35%となっています。 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

ポイント2の説明

農業者年金の加入には農地の権利名義は要りません。

60歳未満の国民年金第1号被保険者(納付免除者を除く)であって、年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。

さらに、認定農業者(認定就農者)で青色申告をしている方と、家族経営協定を結ぶ等の一定の要件を満たせば、保険料の国庫補助が受けられます。

ポイント3の説明

農業者年金の保険料は、高い節税効果があります。

農業者年金の保険料は、全額社会保険料控除の対象ですので、高い節税効果があります。民間の年金保険ですと、年額4万円が個人保険料控除の上限です。

また、経営者が家族の保険料を払った場合には、まとめて社会保険料控除の対象となります。(所得税法第74条)

女性加入者の声

- 夫と一緒に農業をやり、家事もやっているのだから、年金に夫婦で加入するのは当然のことだと思った。(Tさん)
- 子育てが終わって余裕ができた。加入は遅くなったが、満額を掛けて老後に備えたい。(Mさん)
- 年をとったときにエールを送ってくれる制度。「長寿社会になって女性は長生きだから、母ちゃんたちの年金も考えて!」と思った。(Uさん)
- 農業は天候に左右され収入が変動するが、保険料の上げ下げが自由で、苦しいときは引き落としを止めることができたし、節税にもなってよかった。(Aさん)



詳しくは、三条市農業委員会事務局までお問い合わせください。
電話：0256-34-5635

令和元年 三条市賃借料情報

- 標準小作料制度は平成21年の農地法改正で廃止されました。これに代わるものとして毎1月から12月までの1年間に締結（公告）された賃借料情報を提供しています。これは賃借料を決めるための参考であり、以前の「標準小作料」とは異なり拘束力はありません。
- 賃借料を決める際には、対象となる農地の収穫量、生産物の価格、圃場条件、土地改良費の負担などを考慮し、貸し手と借り手が十分に話し合い、納得のうえで決めてください。
- 平成31年1月から令和元年12月までに締結（公告）された賃借料です。

田（水稻）（10アール当たり）

地区名	区分	締結件数	平均締結額	最も多い締結		最高		最低	
				件数	締結額	件数	締結額	件数	締結額
三条地区	金納(円)	346	17,700	93	15,000	4	30,000	1	5,000
	物納(kg)	34	50	9	30	5	120	1	12
栄地区	金納(円)	154	18,000	27	17,000	1	25,000	1	3,000
	物納(kg)	5	94	2	120	2	120	1	56
下田地区	金納(円)	143	8,800	51	5,000	1	19,000	2	3,000
	物納(kg)	112	41	42	30	1	101	1	8

- 1 締結額は算出結果の10円単位を四捨五入し、100円単位としています。
- 2 平均締結額は単純平均ではなく、締結面積を加味した加重平均としています。
- 3 畑は締結件数がごく少ないため掲載していません。

令和2年3月

三条市農業委員会

編集後記

去年に増して雪の少ない冬、今年の農作高に影響が心配されます。世間では、いろいろな事が予定されている2020年、何か少しずつ次世代へ変化している様に感じられます。

農業産業も未来に向けて進化して行かねばと感じました。それが何かはわかりませんが、そろそろ地域の未来を皆で「模索・検討・協力」を真剣に話し合う時期なのではと思います。

(坂井)

委員長 坂井 浩行 副委員長 清野 秀作 三師 満夫
委員 小川 弘樹 田邊 敦子 佐藤 一富 井上 利弥 吉田 精一 原田 孝一